

冬休みの お便り

お月さまは、ゆっくり
のぼってきて、
えだのあいだを通りぬけ、
ぼうしをかぶった。
「ばんざい！
ぴったりだ。」
クマくんはよろこんだ。



22年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

天気予報で、“雪”と聞くと、前年度の大雪を思い出してぞっとしますね。今年はどうな冬になるのか、心配が先にたちます。カマキリはどんな高さにたまごを生みつけたのでしょうか。どうか平年並みになりますように！

白ばらさんの男の子に「今年は雪、あんまりたくさん降らないで欲しいね～」と言いましたら「え～？降っていいんだよ、ボードができるんだよ！」と言われ「あ～、ボードができるの～」と言いながら、心の中で・・・雪だるまとか、かまくらとかじゃないのね、現代風だ～・・・と、古い人間である私は思ってしまいました。苦笑

最近ふっと10年くらい前に聞いた事を思い出したのですが・・・新潟県はまぐみ小児療育センターの東條恵先生が、「子どもに“テレビを見せないで”と保護者の皆さんに伝えるのは、幼稚園や保育園にお勤めの皆さんの役目ですよ」といわれたのです。そうでした、あの頃はきちんとお伝えしていたはずだったのですが、年月が経つにつれて、意識が薄くなってしまっていた事に気づきました。

テレビは使い方によってはよいとする考え方もあるようですが・・・私は、幼児期はできるだけ少なくしたほうがいいと思います。感性豊かな子どもたちに必要なのは、じかに触れ合うことや直接応答できる関係です。言葉によるコミュニケーションはもちろん、身体的なふれあい、まなざし、うなづき等々の非言語的コミュニケーションも、その根底には、温かな思いが込められています。だからこそ、その思いが伝わって子どもたちが成長するのです。思いのこもらない言葉、思いのこもらないスキンシップ、思いのこもらないまなざしは、子どもの心を育てないのです。思いつて不思議です。思いがあるかどうかによって、人の心に訴える事ができるかどうか変わります。人間の言葉は口から発せられる時に、“あ”なら“あ”のかたちが、できているのだそうです。目には見えませんが、特殊な映像を使うと表れるそうです。(♡ こんな形に) テレビやCDから流される音声にはその形がないとのことです。ですから、人と人とが触れ合って人と人とが応答してこそ、じかにその人の成長に影響を及ぼす事ができるのですね。テレビは応答はしてはくれません。一方的に流され続けるだけ・・・ましてニ

ュースなど、もつてのほか、幼児期の子どもの理解を超えるニュースが多いです。先の見通しが立たない子どもにとっては、ニュースは怖いものとなります。世の中の出来事がきちんと受け止められるような年齢になったら、親子でしっかりとその出来事について、話し合うことは必要だとは思いますが・・・それまでは、そういう強すぎる刺激から守ってあげなければならないと思っています。

冬休みは忙しい日々となりますね、年末年始の仕事を、どうぞ楽しみながらなさってくださいね。仕事を楽しそうに行う大人の姿は、子どもたちのお手本となって、いろいろな仕事を“喜んでする子どもたち”に成長しますからね。それから子どもたちも巻き込んで、年末年始の仕事をなさってくださいね。子どもたちは人の役に立つ事をとても喜びますから、たくさんお手伝いをさせてあげてください。そして、「ありがとう、助かったわ」などと、お母さんお父さんの心からのありがとうの言葉を言ってあげてくださいね。そうしたら子どもたち、どんなに嬉しい事でしょう。きっと充実した思いを経験する事でしょうね。

さて、今年も皆様から心強いお支えをいただきましてありがとうございました。新年もどうぞ宜しく願いいたします。皆様どうぞ良いクリスマスを・・・そしてよいお年をお迎えくださいませ。

- 1月 7日(金) 第3学期始業式 11:30降園
- 11日(火) 給食開始 14:00降園
- 15日(土) 大学が試験会場のためお休みです。
- 19日(水) 誕生会 11:30降園
- 21日(金) お餅つきの会 12:00降園
(お餅屋さんの都合で日程が変更になりました。
申し訳ございません)
- 26日(水) ～個人懇談が始まります。